

研究用検査

IL28B遺伝子多型解析

依頼コード No.1627

ペグインターフェロン+リバビリン併用療法の前にIL28B遺伝子多型を解析することで、高い確率で治療効果の予測が可能となります。

依頼コードNo.	1627
検体必要量	EDTA2K加血液 2.0ml
検体の保存方法	冷蔵
採取容器	B-30 (遺伝子解析用)
測定方法	PCR-Invader法
報告形式	遺伝子多型ごとに、「MAJOR (メジャーホモ接合体)」、「HETERO (ヘテロ接合体)」あるいは「MINOR (マイナーホモ接合体)」をご報告致します。
報告日数	7~14日
検査実施料/判断料	未収載
備考	専用検体のため、単独依頼でお願い致します。

- ペグインターフェロン+リバビリン併用療法の治療効果に強く関連する代表的なSNPであるrs8099917で、HETERO (T/G) またはMINOR (G/G) を持つ患者群は、MAJOR (T/T) を持つ患者群に比べて有意に抗ウイルス効果が低いと報告されています。
- rs8099917に加え、それに強く連鎖することが報告されている2種類のSNP (rs8103142 とrs11881222) も同時に測定して精度の向上を図ります。

▶裏面に続きます



株式会社 **ビー・エム・エル**

本社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所 〒350-1101 埼玉県川越市的場1361-1

TEL : 049 (232) 3131 / FAX : 049 (232) 3132

資料、お問い合わせは担当者または最寄の営業所までお願い致します。

<http://www.bml.co.jp>

■報告形式と塩基配列との関係

報告コードNo.	報告名称 (遺伝子多型)	結果報告	塩基配列
1628	rs8099917	MAJOR	T / T
		HETERO	T / G
		MINOR	G / G
1629	rs8103142	MAJOR	T / T
		HETERO	T / C
		MINOR	C / C
1630	rs11881222	MAJOR	A / A
		HETERO	A / G
		MINOR	G / G

■治療効果に寄与するSNPsとハプロタイプ

参考文献より引用改変

SNPs							P value	OR (95% CI)
rs7248668	rs8099917	rs4803219	rs28416813	rs8103142	rs11881222	rs8105790		
G	T	C	C	T	A	T	1.81×10^{-32}	0.1 (0.04 - 0.12)
A	G	T	G	C	G	C	1.35×10^{-25}	11.1 (6.6 - 18.6)

IL28B遺伝子

5' --- rs8099917 --- rs4803219 --- rs28416813 --- I --- II --- III --- rs8103142 --- rs11881222 --- IV --- V --- VI --- 3'

■治療無効に寄与する因子

参考文献より引用改変

因 子	Odds Ratio	95% Conf. Interval	P-values
rs8099917 (マイナー)	37.68	16.71 - 83.85	<0.0001
年 齢	1.02	0.98 - 1.07	0.292
性別 (女性)	3.32	1.49 - 7.39	0.003
再治療例	1.12	0.55 - 2.33	0.750
血小板数	0.93	0.87 - 1.01	0.080
Aminotransferase (ALT)	1.00	0.99 - 1.00	0.735
線 維 化	1.10	0.73 - 1.66	0.658
HCV-RNA量	1.01	0.99 - 1.02	0.139

参考文献 : Tanaka, Y, et al : Nature Genetics 41 (10) : 1105~1109, 2009
 田中靖人・溝上雅史, Vita 2010/4・5・6 Vol.27 No.2(通巻No.111)